

### 3-9 大学情報化職員研修会

本研修会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報を始め、意思決定支援のための情報システムの構築と活用などについて、職員一人ひとりの情報活用能力の向上を図り、大学改革に寄与し得る職員の研修を目的として開催するものである。なお、研修会の企画・運営・実施は、研修運営委員会（委員長：南 雄三、獨協大学）が担当した。

#### （1）開催要項の決定と実施準備

本年度は、昨年度まで実施していた情報センター等部門研修会を廃止して本研修会に統合することになったことから、研修の運営全般に亘り見直しを行い、センター部門の担当者が参加できるよう「教育・研究支援」、「学園情報基盤整備」など分科会の設定を工夫した。また、センター部門の関係者も含め、職員が一堂に参加できるようホテルから大学の協力得て会場を関西大学とした。

プログラムは、全体会と分科会とで構成し、全体会では職員による教育支援の重要性について共通理解を図った上で、分科会で業務およびテーマ別の9グループに分かれて、ITを活用した教育支援の在り方、大学改革への関与、業務の改善等について討議形式を進めることとした。

#### 平成15年度大学情報化職員研修会開催要項

##### 1. 研修目的

この研修会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報化をはじめ意思決定支援のための情報システムの構築と活用などについて、職員一人々の情報活用能力の向上を図り、大学改革に寄与し得る職員の研修を目的として開催するものです。したがって、ここでは、単なるIT化についての情報交換や、技術的な解決策を導き出すことを目指すものではなく、教育支援のために寄与し得るよう考える場にしたいと考えています。

研修は、4つの大きな基本テーマ「A」大学の事務情報統合化」、「B」教育の情報化支援」、「C」学園の戦略的情報化」、「D」インターネットと情報共有」に基づき、情報化のための環境作り、運用・効果、体制等に関する問題全般について、参加者相互によるシステムの事例紹介、討議をもとに理解を深めます。

## 2. 研修内容

学内の基幹業務あるいは業務を横断するテーマについて討議と事例研究を行い、問題解決の方法について理解を深めます。なお、本年度より、情報センター等部門の研修を本研修会に統合しました。昨年度まで情報センター等部門研修会に参加されていた方はコース(6)、(7)のプログラムに参加されることを希望します。

### (A)大学の事務情報統合化

- ①学生基本情報管理（卒業生・校友会を含む）
- ②履修登録と成績管理、シラバス
- ③キャリア支援
- ④奨学金業務
- ⑤管財・施設管理

### (B)教育の情報化支援

- ⑥教育・研究支援（教材コンテンツ、学術情報DB、FD、eラーニング）
- ※ この分科会は扱うテーマが広範なため分割します。

### (C)学園の戦略的情報化

- ⑦学園情報基盤整備
- ※ この分科会は、組織体制と情報基盤整備を扱う2グループに分割します。

### (D)インターネットと情報共有

- ⑧ITを利用した協業体制（文書管理を含む）
- ⑨インターネットを利用した戦略的学園広報

## 3. 全体会

「大学評価の時代に求められる人材育成のための教育支援」

平成16年度より大学は、教育・研究活動全般に亘り、第三者評価機関の評価を受けることが法律で義務づけられることから、学内での自己点検・自己評価を行うことが必然となる。大学の使命は、それぞれの大学が掲げる教育理念に基づいた人材育成である。

それには、大学は、一人々の学生に自己実現の能力が備わるように、あらゆる工夫を駆使して、学生の希望に即した学習支援や学園生活の支援を的確に行えるよう、学生一人々に対して、きめの細かい支援が必要となってくる。例えば、学生に関わる全ての情報（入学時の学力、履修・成績情報、学習相談情報、進路希望情報、資格取得情報、学園生活情報、課外活動情報など）を個人別にデータベース化し、学内LANを駆使し、教職員が学生個人情報と踏まえて常時学生とコミュニケーションを図り、履修相談や進路相談、職業観の育成を行うなどの情報システムの整備が望まれる。

このように学生一人々を大学が掲げる有為な人材に育成していくには、これまでの業務を主体にした情報化政策を見直すとともに、全ての大学職員が自己の業務を通じて教育支援に携わることを意識することが要請されてくる。

以上により、全体会では、これからの教育支援のあり方と職員に求められる意識改革をテーマとして掲げ、参加対象者に応じた講演、解説、事例発表を企画した。なお、事例発表では上記趣旨を踏まえ、札幌学院大学より、学生の個人情報を用いた教育支援に活用する「学生カルテ」構想事例を紹介いただくこととしている。

#### 4. 日程および会場

〈日程〉平成15年9月2日(火)～4日(木)

※ 本年度は1日程にて開催いたします。

〈会場〉関西大学千里山キャンパス

#### 5. 参加資格

加盟大学教職員：当協会加盟大学・短期大学の職員で、学業務の情報化に携わる方。グループのテーマに関心がある方で、積極的に意見交換ができる方。なお、「教育支援」、「学園情報基盤整備」コースでは教員も対象とします。

賛助会員：本研修会の開催内容に関連する当協会賛助会員企業の方で、討議に積極的参加の上、関連情報の提供などにより参加グループの討議促進に貢献できる方。

### (2) 開催結果と次年度の計画

参加者は112大学、5短期大学、賛助会員6社の総勢258名であり、昨年度よりセンター部門を含めて、196名の減少となった。

とりわけ、全体会では、学生一人々の人材育成に職員が教員と連携して支援することを企画し、大学が組織的に取り組んでいる事例として、学生の進路情報、教育情報、就職情報などの個人情報をデータベース化し、学内LANを介して学生の個人指導に活用している札幌学院大学の「学生カルテ」構想の発表があり、教育支援の必要性・意義について理解の徹底を図ることができ、非常に好評であった。開催結果の詳細については、資料篇【資料13】を参照されたい。

なお、参加者の減少は、開催案内の発送遅れをはじめ、1日程による参加機会の減少、センター部門担当者への参加呼び掛けなどを反省し、研修内容の充実と分散日程による改善を計画している。